

質疑回答書

令和4年3月10日

契約番号 2021002004

件名 令和3年度 伊賀市水道施設整備事業

送配水管布設替工事（服部川右岸堤防工区）

質 疑	回 答
<p>1 図面番号2の配水管の管割図にて既設管処理の記載があります。新設管布設後の通水を行ったのち既設管処理の施工順序と思われますが、掘削深さが3.7mと深い。図面番号1の横断図面を参考に掘削を考えたところ、既設構造物の取壊しを行わないと施工が不可能である。</p> <p>よって、発注者としての施工方法を明示願います。</p>	<p>1 施工方法については、1.50mの盤下げを行った後、新設布設、既設管処理を施工する設計になっています。但し、現場状況により変更が必要となった場合は、双方協議の上、変更協議を行います。</p>
<p>2 図面 NO. 4 SGPφ350及びHPPEφ250法面配管の施工について</p> <p>SGPφ350・HPPEφ200の法面部分の配管材料重量が約570kgあります。施工について、配管勾配が約35°ありますが、固定具及び施工方法について、管をクレーン等で水平に据え付けるだけの作業ではなく、仮設作業も発生します。管の固定・支持・据付・接合について変更の対象となりますか。</p>	<p>2 設計は一般配管の標準歩掛となっています。但し、現場の状況に応じて割増することができる為、変更が必要となった場合は、双方協議の上、変更協議を行います。</p>

<p>3 図面 NO. 1 管理用道路の掘削及び土留め工について 送水管ストッパーⅡ型施工部及びそれに伴う配管・配水管φ150箇所での掘削において、設計では土留工幅850mm深さ2.0m又は3.0m・管延長となっていますが、現場施工的には縦約5.5m×横5.5m深さ4.0m程度の土留工が必要となる。又、メカ帽φ300設置時に再度、1.4m×2.5m深さ3.0m程度の掘削及び土留工が必要となります、変更の対象となりますか。</p>	<p>3 現場状況により変更が必要となった場合は、双方協議の上、変更協議を行います。</p>
<p>4 内訳書5号管布設工（土工）掘削土の工事現場内ストックヤードはありますか。 又、ない場合現場より搬出・仮置き・積込・運搬が必要となるので変更の対象となりますか。</p>	<p>4 現時点において工事現場内にストックヤードはありません。但し、現場の状況に応じ、双方協議の上、変更協議を行います。</p>
<p>5 管材等の据付について 河川区域又は保全区域内はトラッククレーンでのクレーン作業が困難と思われます。ラフタークレーン等での作業となる場合、変更の対象となりますか。</p>	<p>5 設計は一般配管の吊込み機械となっています。但し、現場の状況に応じ、双方協議の上、変更協議を行います。</p>

※この回答に対する質問は受付できません。